

## 給食調理室のエアコン設置について

### 1 現状

給食調理室のエアコン設置工事については、令和元年度から実施しており、令和3年4月時点で、小学校4校、特別支援学校3校の合計7校に設置している。

なお、令和3年度については、小学校9校、特別支援学校1校の合計10校分の予算措置。

#### 【給食調理室のエアコン設置状況】

校種	学校数	エアコン設置校数		未設置校数	設置率	
		R1設置	R2設置			
小学校	129校	4校	2校	2校	125校	3.1%
特別支援学校	6校	3校	1校	2校	3校	50.0%
計	135校	7校	3校	4校	128校	5.2%

※特別支援学校は、給食調理室のない北九州中央高等学園及び改築に伴い令和3年度にエアコンが設置される小池特別支援学校を除く。

### 2 設置方法の変更

これまでの市が設置工事を発注し、設置したエアコン機器を市が所有する手法から、環境局が実施する「再エネ100%北九州モデル」を活用し、設置するエアコン機器を第三者が所有する手法に変更することとした（設置方法比較イメージは別紙参照）。

#### 【再エネ100%北九州モデルの活用によるメリット】

- エアコン機器設置に係る期間を 13年から最短2年に短縮
- エアコン機器対応年数の 長寿命化（IoTによる監視機能）
- 維持管理を含む コストの抑制

#### 【参考】再エネ100%北九州モデルについて（環境局事業）

- ・太陽光パネルや蓄電池、エアコンなどの省エネ機器を電力会社が設置する、いわゆる「第三者所有方式」で、再エネの導入と省エネ対策を図るもの。
- ・また、IoTやAIを活用したエネルギーマネジメントシステムを導入し、最適な運用や維持管理を行うことで、再エネ電力価格の低減を実現して、機器の長寿命化を図り、サーキュラーエコノミーにも貢献するモデル

### 3 設置スケジュール（予定）

- 令和3年度 約60校に設置
- 令和4年度 約60校に設置

※学校統廃合、大規模改修工事等の状況により、設置スケジュールについては変更の可能性はある。

# 別紙

## 給食調理室エアコン設置方法比較イメージ

- 【目的】**
- 熱中症予防など給食調理室の労働環境改善を図る観点から、給食調理室(約 120 校)に、「**第三者所有方式**」で、IoT 監視機能を有するエアコンを導入する。
  - エアコンの動作環境を常に把握することで、最適な維持管理を行い、**機器の長寿命化(+2年)を実現**し、導入・維持管理コストを抑制する。

